

令和元年度
(2019年度)

環境部の取り組み実績

<部の構成>

環境政策室、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、環境指導課

1. 重点施策・事業

(1) ごみ減量の取り組み

方向性	安全で安定的なごみ処理体制を維持するため、現在、整備が進められている新ごみ処理施設の稼働に向けて、ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標を達成できるよう、取り組みを進めます。
取り組み	<p>ごみ処理基本計画に定めるごみの減量目標は、新ごみ処理施設における安全・安定的なごみ処理を行う条件の一つでもあることから、紙類等のごみの資源化を促進するため、令和元年度(2019年度)から自治会等による集団回収に加え、新たに古紙(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ等)の行政分別回収を実施します。また、生ごみの発生抑制のため、「食べのこサンデー」運動のロゴマークを活用した情報発信を行います。</p> <p><<目標値>> ごみの焼却量：94,483 t 平成31年度当初予算：1,100千円</p>
実績	<p>自治会等による集団回収では、新聞紙 7,804,800 kg、雑誌等 2,600,229 kg、ダンボール 1,959,020 kg、古布類 957,095 kg、アルミ缶 243,457 kg、牛乳パック 29,504 kg、紙製容器包装 18,225 kgを回収しました。</p> <p>また、リサイクル可能な紙類(新聞紙、ダンボール、雑誌・雑がみ)の行政分別回収を実施し、新聞紙 108,700 kg、段ボール 156,340 kg、雑誌・雑がみ 218,880 kgを回収しました。(令和元年6月～令和2年3月実績)</p> <p>「食べのこサンデー」運動について市ホームページやごみ分別アプリ、ラッピングしたごみ収集車両による啓発活動により啓発情報発信を行いました。</p> <p>令和元年度のごみ焼却量は 94,354.15 t であり、目標値を達成しました。</p> <p>令和元年度決算：702 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 地球温暖化対策の推進

方向性	地球温暖化防止に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、総合的かつ計画的に施策を推進します。
-----	--

<p>取り組み</p>	<p>令和元年度（2019年度）は、「COOL CHOICE」の趣旨を広く市民に周知し、日常での温暖化対策の取り組みを推進することで、本市域の家庭部門から排出される温室効果ガスを削減します。また、本市の地球温暖化対策実行計画に基づいて作成した「環境ポータルサイト」で、最新の温暖化対策情報を広く発信し、多くの市民が温暖化対策に取り組めるよう周知します。</p> <p>大型太陽光発電設備の稼働による売電収入を、市の省エネルギー・省CO2対策に引き続き活用し、地球温暖化対策に関する取り組みを推進します。</p> <p>《目標値》</p> <p>公共建築物における太陽光発電量：1,155kW</p> <p>「COOL CHOICE」の趣旨への賛同数：2,170人</p> <p>平成31年度当初予算：8,531千円</p>
<p>実績</p>	<p>緑のカーテンモニターやクールダウン・枚方～みんなで打ち水大作戦～、ごみ減量フェア等の参加者に「COOL CHOICE」の取り組みを周知し、1,642人から賛同を得ました。このことにより、一般家庭約314世帯で1年間に排出される温室効果ガスに相当するおよそ1,407tを削減できました。また、市ホームページの「環境ポータルサイト」を適宜更新し、最新の温暖化対策情報を広く発信しました。今後も引き続き、市ホームページやイベント等を活用し、「COOL CHOICE」の普及・啓発に取り組んでいきます。</p> <p>令和元年度末の公共建築物における太陽光発電の総出力は、香里ヶ丘図書館の建て替えに伴い新たに太陽光発電設備（約2kW）を設置したことから、合計1,157kWとなりました。</p> <p>なお、令和元年度（4月～3月）における大型太陽光発電設備（ソラパ）の稼働による発電量は700,320kWhで、売電収入30,468,549円からリース料を差し引いた収益9,413,949円の一部については、地球温暖化対策等に活用しました。</p> <p>令和元年度決算：7,009千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

<p>（3）可燃ごみ広域処理施設の整備</p>	
<p>方向性</p>	<p>枚方京田辺環境施設組合において、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を進めます。</p>
<p>取り組み</p>	<p>枚方京田辺環境施設組合による環境影響評価のほか、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備に向け、引き続き、京田辺市と連携しながら、取り組みを進めます。</p> <p>平成31年度当初予算：107,589千円</p>
<p>実績</p>	<p>枚方京田辺環境施設組合において実施している環境調査において、京都府の絶滅危惧種であるオオタカの生息が確認されており、京都府から指示を受けた追加調査（周年調査：第2繁殖期）を終え、オオタカの生息環境の保全方法の検討が行われました。その結果、可燃ごみ広域処理施設の稼働年次を令和5年度（2023年度）から7年度（2025年度）に見直しが行われました。また、組合が実施する環境影響評</p>

	<p>価等の事業について、構成市及び組合で組織する運営協議会を開催し、協議・調整を行うとともに、市長協議を行うなど、円滑な整備に向けて連携を図りました。</p> <p>令和元年度決算：82,660千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) 第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて	
方向性	第2次枚方市環境基本計画が令和2年度(2020年度)に計画期間が満了することから、次期計画の策定に向けた基礎調査や計画内容の検討に取り組みます。
取り組み	<p>第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、市民・事業者アンケート調査を実施するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)や生物多様性地域戦略、環境教育・環境学習指針の考え方を盛り込みながら、計画内容の検討を進めます。</p> <p>平成31年度当初予算：6,952千円</p>
実績	<p>第3次枚方市環境基本計画の策定に向けて、7月から8月に市民・事業者アンケート調査を、9月に市内高校生を対象としたワークショップを実施しました。その後、本市環境審議会から、アンケート・ワークショップ結果やSDGs(持続可能な開発目標)、生物多様性地域戦略、環境教育・環境学習指針の考え方を盛り込んだ答申をいただき、答申を基にした第3次枚方市環境基本計画の検討を進めました。</p> <p>令和元年度決算：4,248千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期経営プランに掲げる会員数の増加や事業内容の充実等の目標について進行管理を行います。
実績	<p>ひらかた環境ネットワーク会議と市が連携して、引き続き、市民の環境保全活動を促進しました。</p> <p>また、同団体の経営基盤の強化に向けては、中期経営プランに基づき半期ごとに中間報告を受け進捗管理を行い、状況に応じて取り組みの見直しを同団体と市で協議検討しました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	大気環境や自動車交通量等の状況変化の把握を行うとともに、これまで蓄積したデータ等を踏まえ、第二京阪道路環境監視の在り方に関する検討会等において関係機関との協議等を行い、大気汚染測定局の配置等の見直しを行います。
実績	<p>大気環境や自動車交通量等について各測定局における状況変化の把握を行い、平成30年度に実施した大気環境測定結果を環境データ集として公表した。</p> <p>また、第二京阪道路環境監視の在り方に関する検討会等においても、大気環境や自動車交通量等の状況変化の把握を行うとともに、関係機関と共有化を図った。</p> <p>一方、測定項目の見直しを行った結果としては、王仁公園局で実施していた二酸化硫黄の測定を令和2年度より停止することとした。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	希釈放流センターは、平成29年12月18日から、し尿等を希釈して公共下水道へ放流し、処理業務の効率化を図っています。
実績	令和元年度においても安定した処理を行えるよう、適正に処理施設の維持管理を行い、関係法令に順守した水質で希釈放流を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルなどの取り組みを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを引き続き進めます。
実績	<p>「食べのこサンデー」運動について市ホームページやごみ分別アプリ、ラッピングしたごみ収集車両による啓発活動により啓発情報発信を行いました。</p> <p>自治会等による集団回収では、新聞紙 7,804,800 kg、雑誌等 2,600,229 kg、ダンボール 1,959,020 kg、古布類 957,095 kg、アルミ缶 243,457 kg、牛乳パック 29,504 kg、紙製容器包装 18,225 kgを回収しました。</p> <p>また、リサイクル可能な紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌・雑がみ）の行政分別回収を実施し、新聞紙 108,700 kg、段ボール 156,340 kg、雑誌・雑がみ 218,880 kgを回収しました。（令和元年6月～令和2年3月実績）</p> <p>令和元年度のごみ焼却量は 94,354.15 t であり、目標値を達成しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方にに基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料の適正化に向けた検討を行います。
実績	他市の事業系ごみ処理手数料の状況について調査するとともに、条例改正が必要な時期について検討を行い、令和5年度の条例改正をめざし、手数料の適正化に向けた検討を進めることとしました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	希釈放流センターの職員配置については、費用対効果及び施設の維持管理も含めた観点で、引き続き検討を行います。
実績	希釈放流センターへの搬入量は減少傾向ではありますが、長期的に安定した処理の実施を念頭において検討した結果、緊急時の対応や設備の維持管理及び施設の老朽化対策などの取組が必要であることから、引き続き現行のままの運転管理を行うこととしました。 し尿収集については収集世帯の減少を踏まえ、収集車両の減車や収集経路の見直しを行うなど、効率的な収集に向けて取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	市の責務として市民生活に著しい影響を与えないため、セーフティネットを確保しながら、段階的（平成29年度から平成31年度）の間において、1台/年・計3台）な委託化を進めます。また、ごみ収集業務における市民サービスの水準を維持し、より効率的・効果的な運営体制の構築に取り組みます。
実績	災害等の発生時に市民生活への著しい影響を与えないよう直営率 50%体制を確保しながら、平成 29 年度からの 3 年間で直営車両 3 台分の段階的な委託拡大（1 台/年、計 3 台）をめざし、受託業者や他課との調整を行いました。その結果、平成 29・30 年度および令和元年度に、それぞれ直営車両 1 台（累計 3 台）を減車しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は運営管理業務のうち運転管理業務を委託しており、その監理に豊富な知識、経験、技術を持った技能労務職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持します。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であったことから、直営と委託の併用で運転管理を行ってきました。しかし、令和7年度（2025年度）の第3プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行うため、今年度に、運転管理業務の全面委託に向けた総合評価一般競争入札に組み込みます。
実績	東部清掃工場は運営管理業務のうち運転管理業務を委託しており、その監理に豊富な知識、経験、技術を持った職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持し、より適切な管理体制の構築に努めてきた。今後も引き続き、安定的かつ効率的な施設運営を継続する。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	枚方京田辺環境施設組合による可燃ごみ広域処理施設の整備について、京田辺市と連携を図りながら、令和5年度（2023年度）の稼働に向けた取り組みを進めます。
実績	枚方京田辺環境施設組合において、オオタカに係る追加調査や保全措置の検討及び工事に伴う保全措置の実施のため、可燃ごみ広域処理施設の稼働年次を令和5年度（2023年度）から7年度（2025年度）に見直しが行われました。また、構成市及び組合で組織する運営協議会の開催や京田辺市と市長協議を行うなど、円滑な整備に向けて連携を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加や安全運転・安全作業マニュアル研修、安全誘導実地研修の実施、公用車事故防止対策の充実を図ります。
実績	朝礼後の指差し呼称（行動目標）、デンジャラスゾーンの提示、無事故・無違反チャレンジコンテストへの参加（116人参加）、全職員対象とした安全運転研修（座学研修3回・154人）、安全誘導実地研修（15回・164人）、安全運転行動についてのセルフチ

	エック、乗務員氏名記入シート（マグネットシート）の貼付などを実施することにより、職員の公用車事故防止意識向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

テーマ	取り組み内容・目標
所管用地の整備	淀川衛生事業所の所管用地である緩衝緑地帯の公園拡張整備により、維持管理経費の縮減に向けて取り組みます。
実績	緩衝緑地帯の約5分の4を売却し残りの用地の有効活用として、令和2年度の完成に向け、整備に必要な「伊加賀西町緩衝緑地改修工事実施設計業務委託」を行いました。今後は、公園として利用ができるよう「伊加賀西町緩衝緑地改修工事」を実施し、整備完了後に土木部へ用地の所管換えを行い、一体的な管理による維持管理経費の縮減に向けて取り組みます。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

テーマ	取り組み内容・目標
知識・技術継承のための取り組み	より効率的・効果的な業務の体制づくりのため、新たな業務マニュアルの作成等に取り組むとともに、既存の業務マニュアルの最適化に努めます。
実績	「河川等における水質事故対応の手引」に、休日・時間外の参集対応手順を加えるなど、マニュアルの最適化を行いました。また、効率的・効果的な事務処理を行うため、有害物質使用特定施設に関する情報の窓口閲覧を可能とするなど、サービス向上、事務処理時間の短縮に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

テーマ	取り組み内容・目標
灰溶融炉の停止（廃止）に向けた取り組み	地球温暖化対策に伴う環境負荷の低減や長期財政負担の軽減を図るため、灰溶融炉の停止（廃止）に向けた具体的な検討を進め、「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」の見直しを行います。
実績	灰溶融炉の停止（廃止）を行うことにより、温室効果ガスの年間約2,100t-CO ₂ 低減や設備改修費用等が令和30年度までに約51億円の削減効果が見込めることから、「東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画」を改定し、令和4年度末までに灰溶融炉の停止（廃止）を含む基幹的設備改良事業を令和3年度より5カ年で行うこととしました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、令和元年度（2019年度）は、約3億円の収入を見込んでいます。

実績	総発電量 8,982,620kWh の 53.07%にあたる 4,766,885kWh の電力を売却し、43,656,777 円の売電収益を得ました。（穂谷川清掃工場）
	総発電量 26,241,200kWh の 48.03%にあたる 12,602,770kWh の電力を売却し、178,843,681 円の売電収益を得ました。（東部清掃工場）
	総発電量 700,320kWh の電力を売却し 9,413,949 円の売電収益を得ました。大型太陽光発電設備（環境政策室）
	令和元年度は合計 231,914,407 円の売電収入を得ました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆市施設への太陽光発電設備をはじめとする再生可能エネルギーや未利用エネルギーのさらなる利用拡大に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用を目指します。

実績	国の補助金を活用し、老朽化で建て替えた香里ヶ丘図書館に、出力約2kWの太陽光発電設備を導入しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	



穂谷川清掃工場



東部清掃工場

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的な部運営会議を通じて、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行い、部内各課が連携・協力しながら、より効率的・効果的に事務を執行します。

実績	部運営会議を12回開催し、部内の目標達成に向けた情報共有と進捗管理を行うことにより、課題等に対して部内で連携・協力しながら、効率的・効果的な取り組みを行い
----	---

	ました。組織目標である可燃ごみ広域処理施設整備の円滑な推進やごみ収集業務体制見直し実施計画（5カ年計画）の来年度に向けた取り組みを達成しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆現場での業務経験の蓄積や個々の研修成果を部内・課内で共有化することで、組織全体の技術力や知識などのレベルアップをめざします。

実績	日常的な指導育成や市民・窓口対応以外にも災害情報システム操作研修等を行うとともに、環境省環境調査研究所実施研修等への参加者による課内共有化を実施するなど、組織力の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆OJTをはじめとする研修の充実を図り、職員一人ひとりのスキルの向上にも努めるとともに、お互いに学び合う風土を醸成することで、自律型職員の育成に努めます。

実績	大型台風の被害を受けた千葉県南房総市における災害廃棄物の状況を視察し、本市災害廃棄物処理計画における災害時の廃棄物の課題等について知見を深めました。特に被害状況や一時仮置場の現状や課題を中心に報告し、参加者で意見交換を行うなど、職員一人ひとりのスキルの向上に努めました。 また、粗大ごみ収集に係る研修など職場内での研修等を実施するとともに、収集地域担当職員による収集現場でのごみの適正排出に係る市民啓発等を実施しながら市民対応力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆各地域のごみの収集日や分別の種別などが分かるスマートフォン向けのごみアプリの導入やごみ収集日カレンダー、「食べのこサンデー」運動のロゴマーク等を活用した啓発など、ごみの減量及び適正排出について広く市民に発信します。

実績	ごみ分別アプリを配信することにより分別排出の周知を行いました。令和元年度のダウンロード数は8,625件、累計ダウンロード数は12,702件となりました。（令和2年3月末現在） 市内小学校4年生を対象に実施した環境学習でごみ収集日カレンダーを3,858部配布しました。 店舗前・街頭所・公共施設でマイバッグの持参や生ごみの水切り、食品ロスの削減等に向けたキャンペーン活動を実施しました。 市ホームページやごみ分別アプリ、ラッピングしたごみ収集車両による啓発活動のほか、市内大学の学園祭等で「食べのこサンデー」運動啓発用ティッシュを配布・啓発することで、食品ロス削減に向けた取り組みを進めました。
-----------	---

取り組みに対する達成状況	【 ○ 】
---------------------	-------

- ◆ごみ減量フェアや穂谷川清掃工場内のひらかた夢工房における市民ボランティアによる講習会や発表会等を開催するなど、ごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。



ひらかた夢工房

実績	<p>11月3日に開催した「ごみ減量フェア」では、市民によるフリーマーケットや、辻栄養専門学校から食品ロスに関連したメニューの提供、ひらかた夢工房の市民ボランティアによる講習会・教室や発表会などを開催することでごみ減量やリサイクルに関する情報を発信しました。（リサイクル衣料教室は2回で20人、自転車整備点検教室は2回で39人、生ごみ堆肥化講習会9回で32人、夏休み木工教室は2回で25人が参加）</p> <p>なお、ひらかた夢工房サテライト発表会を9月6日～11日にくずはモールにおいて開催。（参加者580人）</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆「環境フェスタ」として、ごみ減量フェア、天の川クリーン&ウォーク及び氷室ふれあい里の駅等を一体的に開催するとともに、自然観察会やごみ減量又は環境に関する講演会、各種啓発キャンペーン、ひらかたクリーンリバーなど、市民等と連携したイベントを実施し、効果的な環境啓発活動を行います。

実績	<p>「環境フェスタ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天の川クリーン&ウォークを実施（10月26日・372人参加） ・東部清掃工場「氷室ふれあい里の駅」を実施。（10月27日・枚方東消防署等340人参加） ・穂谷川クリーンリバーを実施【ごみ減量フェアと合同開催】（11月3日・71人参加 ※ごみ減量フェア約3000人参加） <p>環境啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船橋川クリーンリバーを実施（9月8日、10月5日・合計373人参加） ・市民団体と協働で自然観察会を5回開催（参加者計186人） ・自然環境を考える講演会を開催（1月25日・参加者58人）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆市ホームページに地球温暖化対策に関するポータルサイトを作成し、再生可能エネルギーや COOL CHOICE などに関する情報を広く市民に発信します。

実績	市ホームページに作成した「環境ポータルサイト」を適宜更新し、国や府の補助金情報などの最新の温暖化対策情報を広く発信しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆省エネルギー・省 CO₂ 型のライフスタイルを促進するため、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、サプリ村野の環境情報コーナーにおいて、市の環境保全活動や省エネルギー、省 CO₂ に関する取り組みを効果的に PR します。

実績	環境情報コーナーにおいて、パネル展示やエコドライブシミュレータ体験などを行い、市の環境保全活動や省エネルギー・省 CO ₂ に関する取り組みの PR を行いました。そのほか、市内に生息する昆虫の標本や魚の水槽展示、リユースコーナーの設置や環境講座の開催など、環境保全活動の普及、啓発を行いました。令和元年度は、研修室 167 回 1,710 人、環境情報コーナー 2,792 人の利用がありました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆穂谷川清掃工場、東部清掃工場及び大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」における施設見学等を活用し、市の環境施策について積極的に情報発信を行います。



枚方ソラパ

実績	<p>ごみ処理に対する市民や事業者の理解を深め、ごみ減量と環境保全の啓発として、市内の小学 4 年生や一般市民等を対象に見学者を受け入れ情報発信を行いました。</p> <p>(穂谷川清掃工場) 施設見学者数：690 人 ※環境フェスタ 108 人含む</p> <p>(東部清掃工場) 施設見学者数：3,609 人</p> <p>市民や各種団体等を対象とした見学会を 2 回開催するとともに、広島県大竹市議会からの視察の受け入れを行いました。</p> <p>(環境政策室) 施設見学者数：57 人</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	